

1人1台端末を活用した授業改善

中核校	えりも町立えりも中学校	指定校	えりも町立笛舞小学校、えりも町立えりも小学校 えりも町立えりも岬小学校、えりも町立庶野小学校
-----	-------------	-----	---

実践前の状況

- 今年度から町の研究会等の在り方を見直し、高等学校を含めた町内全校が学力向上推進計画に基づいた授業改善を推進することとしたが、1人1台端末の活用については、学校ごとに進めており、町として端末活用の協議を行う場を設ける必要があった。

実践の概要

方向性を明確にした各学校における1人1台端末を活用した研究授業及び協議の実施

- えりも町学校教育研究会の学習部が中心となり、学力向上推進計画を作成し、視点の1つ「互いに学び合う授業づくり」において「ICT機器の利点を生かした協働的な学び」を提案し、全町で目指す方向性を明確にした。
- 2学期に行われた各学校の研究授業において、学校教育研究会で明確にした視点を踏まえた授業公開を実施するとともに、「自分の考えを他者の意見と照らし合わせて深めたり、活発な意見交流を生み出したりする学習活動」や「思考ツールの活用による考えの整理、共有」など1人1台端末を活用した協働的な学びの在り方について協議した。えりも町学校教育研究会の実践交流会における協議及び講演の実施
- 12月22日に町内のすべての小中高の教職員が集まり実践交流会を開催し、協議では「ICTを活用した効果的（特徴的）な各校の取組」を発表するとともに、グループでは3学期からの具体的な活用について交流を行った。
- 講師に文科省学校DX戦略アドバイザーを招き、「学びの構造」や今後の方向性など、1人1台端末の活用の日常化から効果的な活用に向けた取組のアドバイスをいただいた。

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

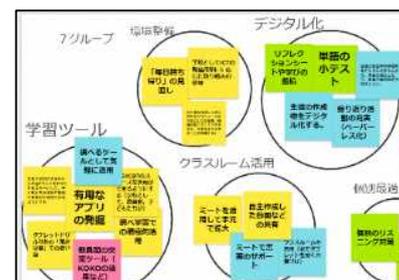
- 町内の全ての学校が授業公開を行い、授業及び協議の視点について共有するとともに、研究授業を土台とした町全体の研修を推進する組織づくりを前年度から行った。
 - 新たな組織における部の運営を管理職が行い、1人1台端末の活用を協議する場の設定など、町としての課題に組織的に対応した。
- 成果（ ）と今後の課題（ ）



【学校教育研究会学習部作成の方向性】



【学校DX戦略アドバイザー講演資料】



【Jamboardを活用したグループ討議】

1人1台端末やICT機器の利点を生かした協働的な学びにおける授業改善の状況を町内の全教職員が知ることで、目的に応じた活用方法の共通理解を図るとともに、端末活用に係るメリットやデメリットを共有することができた。

各学校の取組を交流し合うことにより1人1台端末等の活用の幅が広がるとともに、講師の講評により、何を目的に活用していくのかを再確認することができた。

次年度に向け、どの時期にどのような方法で1人1台端末等の活用について交流し、効果的な活用に向けた町全体の協議を行うのか、校長会で確認をする必要がある。